

# 株式会社コインパス

GMS2015/講演資料

# 登壇者自己紹介



妹尾 賢俊(せのおただとし)

1997年 東京三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行

2007年 maneo株式会社(\*1) 創業(代表取締役CEO)

2014年 株式会社コインパス 共同創業(取締役COO)

(\*1) maneo株式会社は日本初のソーシャルレンディング事業会社  
融資実行額(累計)は約297億円(2015年6月時点)

自社サービスについて紹介しようと思ったのですが、  
せっかく、「金融・IT融合と挑戦」というお題なので、

Fintech最先端分野の一つであるビットコイン(および中核技術であるブロックチェーン)周りにおける既存金融機関の動向をお伝えします。

弊社サービスはお時間あるときにでもサイトをご覧ください(‘◇’)ゞ

# ブロックチェーン技術・・・

経済取引の真正性(当事者取引であること+当事者性を第三者が認証すること)を「特定の誰か」が認証するのではなく、「参加者全員」で認証する仕組み。

## 【MITメディアラボ所長 伊藤穰一氏のブログから抜粋】

20年前、広告会社、メディア企業そして銀行への講演で、インターネットがどれだけ重要になり、劇的な変化をもたらしていくかを説明したことがあった。

ほとんどの人はインターネットが商業およびメディアをいかに根幹から変えることになるかを想像できてなかった。これら大企業には、自分たちがインターネットについて何かしら学ぶ必要がある、ないし、インターネットが自分たちの商売に影響するだろう、と考える人はいなかったのだ。

ブロックチェーンは銀行業、法律そして会計業にとって、メディア、商業および広告業にとってのインターネットに相当する変化をもたらす気がしている。

(出典) <http://joi.ito.com/jp/archives/2015/01/23/005568.html>

# ビットコインやブロックチェーンを巡る金融機関の動向

時期	金融機関(国)	アクション
2014年5月	Fidor(ドイツ)	送金システムにリップルを採用
2014年9月	CBW、Cross River(以上アメリカ)	送金システムにリップルを採用
2014年11月	Bankinter(スペイン)	取引所へ出資
2014年12月	ABN Amro、ING、Robo Bank(以上、オランダ)	ブロックチェーンの研究、ビットコイン、リップルを用いた実験
2015年1月	BBVA(スペイン)、NYSE、USAA(以上、アメリカ)	取引所へ出資
2015年3月	Sberbank(ロシア)	関連VCでブロックチェーン向けファンド組成
2015年4月	UBS(スイス)	ブロックチェーンラボを設立
2015年4月	BNY Mellon(アメリカ)	ブロックチェーンの研究目的で独自コイン発行
2015年4月	Goldman Sachs(アメリカ)	ウォレットサービスへ出資
2015年5月	USAA(アメリカ)	ブロックチェーンの研究チーム発足
2015年5月	NASDAQ(アメリカ)	未公開株式市場向けのインフラにブロックチェーン採用

要するに、

ブロックチェーン技術は最近、金融機関から注目を浴びるようになっていきます。。。

ご興味あれば、是非、お調べになってください。

ちなみに、  
ビットコインやブロックチェーンに関するわかりやすい  
著作があります。



弊社のチーフアーキテクトである斉藤賢爾の著作です<(\_ \_)> 宣伝です(笑)

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。

また、本資料に掲載されている内容の正確性について、当社が保証するものではありません。

本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。

個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。

本資料に基づき何らかの損害等が発生した場合であっても、弊社では責任を負いかねますので何卒ご了承ください。